



“新材料(ゾルゲル)分科会”の発足会開催のご案内

昨年5月、一般社団法人光融合技術協会と(株)サーフテックトランスナショナルの共催で開催しました“Prof. Helmut Schmidt によるゾルゲル法に関する2日間の集中セミナー”のフォローアップとして、新材料(ゾルゲル)分科会を光融合技術協会の活動の一つとして発足させることになりました。狙いは、参画企業における“ゾルゲルをベースとした新材料、新製品、新事業を実現”するための支援活動です。

具体的には、ゾルゲルを基本としたナノ材料・プロセス開発・スケールアップ・実用化ノウハウを有する HSM TechConsult 社の Prof. Helmut Schmidt と Dr. Christian Schmidt 及びゾルゲルの研究開発の国内専門家である宇都宮大学の鈴木(昇)教授と松本教授(次元制御ゾルゲル)にアドバイザーになっていただき、ゾルゲルで何ができるか? メリットは? などの理解を深め、そして、ゾルゲル法による新材料、新製品開発、そして応用の拡大と実用化の推進を図るものです。

現時点での分科会活動の提案は、以下のようになりますが、最初に開催される発足会で、参加者の皆様との議論を通じて、最適化したいと考えています。

<提案>

1. 分科会名称: 新材料(ゾルゲル)分科会

2. 分科会メンバー

分科会活動に興味を持つ協会会員企業(参加費:6万円/年。協会年会費とは別。)初回参加費は6000円/人。2回目以降は協会会員である必要があります。

3. コーディネーター

協会企画委員(原田、鈴木、小野、生水)

4. アドバイザー

Prof. Helmut Schmidt(HSM), Dr. Christian Schmidt(HSM), 鈴木(昇)教授(宇大)、松本教授(宇大)

5. 具体的な活動

* 年4回程度の会合(半日)による情報、意見交換

* 会合では、毎回テーマを決めて、企画委員からの資料やプレゼンを通じての情報提供

* 会合では、HSM社とのTVまたは電話会議によるディスカッション(1回30分~1時間程度)

* 会合では、国内アドバイザーとのディスカッション



- * 協力して補助金を獲得し、試作ラインを宇大に構築し、共同利用
- * マルチクライアントプロジェクト(プログラム)による基盤技術開発

6. 発足会: #協会会員でなくても参加できます。

日時: 2019年2月14日(木) 13:00~19:00

場所: 東京理科大学、森戸記念館、第一フォーラム及び第3会議室

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶(協会活動と分科会活動紹介含む)(以下、予定)

13:15 参加者自己紹介

13:30 昨年5月のProf, Schmidtのセミナーの背景説明

14:00 Prof, Schmidtの前回セミナーの内容のおさらい(一部、残りは次回以降)と議論

15:30 休憩

15:45 分科会としての活動方針、内容についての、提案、意見交換

16:15 第3会議室へ移動

16:30 Prof, Schmidtの前回講演内容について、電話またはTV会議でProf, Schmidtらと質疑応答

17:00 今後の活動方針の提案とまとめ

17:30 懇親会

19:00 終了

参加費: 6000円 (初回分として、懇親会費込)

<参加申し込み、問合せ先>

株式会社ジャステックス 代表取締役 原田 努

E-mail: t_harada@jastex.com

株式会社サーフェックトランスナショナル 代表取締役 鈴木巧一

E-mail: koichisuzuki@surftech.co.jp

Prof. Dr. Helmut Schmidt :

ゾルゲル法の世界的権威者で、フラウンホーファーISC とライブニッツINM の所長、そして、スピンオフベンチャーのCTO として、革新的なゾルゲル技術の実用化で多大な実績を残しています。現在、HSM TechConsult GmbH 代表。